



パンフレット AD043  
1997年 7月作成  
工 業 用

強力分散剤

## セモールWS100

(SEMOL WS100)

セモールWS100は各種染料・顔料用分散剤です。分散性不足によるトラブル（スペック、ターリング）の解消に顕著な効果を示します。

### 性質・性状

外 観	灰褐色粉末
成 分	芳香族スルフォネート配合製材
イ オ ン 性	アニオン
p H	約8.0（約1%水溶液）
溶 解 性	任意の割合で水に溶解します。

### 特 徴

- 1 . セモールWS100は非常に優れた分散力を有し、各種染料、顔料に使用できます。
- 2 . セモールWS100は耐酸、耐アルカリ、耐塩性に優れています。
- 3 . アセテート、ポリエステル、ナイロン、ビニロン等の合成繊維だけでなく、ウール、絹、綿等の天然繊維の染色時にも使用できます。
- 4 . セモールWS100は最終染着量に悪影響を与えません。

## 使 用 方 法

使用する染料の種類・濃度、被染物の種類・形態、処理法により異なりますが、一般的には下記の通りです。

### 1．アセテート染色

染料の半量から1.5倍量のセモールWS100と染料をよく練り合わせた後、希釈し、染浴に添加して下さい。

### 2．ポリエステルおよびその混紡品

キャリアーと併用する場合は、あらかじめキャリアーとの相容性を確認してからご使用下さい。(カチオン系または弱カチオン系キャリアーとの併用はお避け下さい。)

一般に染料と同量、または染色浴に0.5～1g/Lを添加しますが、キャリアーに対する分散効果も有するため、1～1.5g/L添加することにより、より安定な染浴が得られます。

ウール、絹/ポリエステル混紡品に対しては、汚染防止性も発揮します。

### 3．ナイロンの染色

ナイロンを分散染料、または含金属染料で染色する際、セモールWS100は非常に有効な分散剤となります。0.5～1.5g/L添加します。

### 4．ポリプロピレンの着色、ポリエチレンプラスチックの着色

ポリプロピレン、またはパラフィンの着色には油性染料、顔料がキャリアーと併用して用いられます。セモールWS100はこれらの染料、顔料およびキャリアー用分散剤としても効果を発揮します。

キャリアーは染料、顔料の半量から同量、セモールWS100は同量程度を加え染色します。ベンジルアルコール、またはシクロヘキサノール併用時には、センカノールSKとセモールWS100の併用(1:1)も有効です。

### 5．スレン染料のパッケージ染色その他

(イ)スレン染料を用いたパッケージ染色においては、染料の分散状態が均染性に大きな影響を与えます。セモールWS100は、スレン染料に対して、非常に有効な分散剤であり、浸透性の向上、還元の均一化に優れた効果を発揮します。



セモールWS100

(D)低アルカリ処方においては、還元性の低下による不均染が生じやすく、これを防ぐためには分散剤の添加が有効です。分散剤によってはカラーイールドや染着速度に影響を与え、再現性を悪くする場合がありますが、セモールWS100は再現性に悪影響を与えません。

染色浴に対し0.5～1g/L添加して下さい。

#### 6. 顔料の分散（チタン白、カーボン黒、有機顔料等）

水中顔料分散剤としても、セモールWS100は非常に優れた分散力を発揮します。保護コロイド剤と併用することにより非常に安定な分散液が得られます。分散液に対して1～5g/L添加して下さい。

### ご 注 意

使用に際しましては充分試験の上ご使用下さい。

### 入 目

20kg

### 取扱いおよび保管上の注意事項

- 1) 取扱い中は、直接身体に触れないように保護手袋、保護メガネを着用して下さい。
- 2) もし誤って眼や口に入ったときは、直ちに流水でよく洗い流し医師の手当てを受けて下さい。
- 3) 皮膚に直接触れた場合は、直ちに流水でよく洗い流して下さい。もし発疹その他の異常が生じた場合は速やかに医師の手当てを受けて下さい。
- 4) 取扱い後は手洗い、うがいを充分に行ってください。
- 5) 使用途中の容器は密閉し、異物が入らないようにして下さい。
- 6) 保管に際しては直射日光を避け、冷暗所（5～35℃）で保管して下さい。
- 7) 廃棄するときは、産業廃棄物として処理して下さい。



セモールWS100

お 願 い

弊社発行の「製品安全データシート(MSDS)」を用意しております。併せてご活用下さい。